

1. 平成22年度外務省ODA予算(案)の概要 その1

I. 22年度当初予算(案)

(単位:億円)

	平成21年度		平成22年度	
	予算額	伸 率	政府案	伸 率
政府全体	6,722	▲ 4.0%	6,187	▲ 7.9%
うち 外務省	4,363	▲ 1.0%	4,134	▲ 5.3%
無償資金協力	1,608	1.3%	1,542	▲ 4.2%
JICA運営費交付金	1,558	1.3%	1,480	▲ 5.0%
JICA有償部門交付金	70	▲ 48.1%	0	▲ 100.0%
分担金・拠出金	502	▲ 1.8%	514	2.4%
援助活動支援等	624	▲ 1.7%	598	▲ 4.1%

II. 21年度第2次補正予算追加額

(単位:億円)

政府全体(全額:外務省)	1,458
【内訳】	
>アフガニスタン支援経費	487億円 (総額:499億円)
>アジア・アフリカ等気候変動緊急支援	711億円
>世界エイズ・結核・マラリア対策基金への拠出	189億円
>その他:国連分担金	0.5億円 (総額:4億円)
>その他:国連平和維持活動(PKO)分担金	71億円 (総額:1,013億円)

1. 平成22年度外務省ODA予算(案)の概要 その2

Ⅲ. 22年度ODA当初予算(案)の形態別概要

➤無償資金協力 1, 542億円(▲67億円、▲4.2%)

- コスト削減等を行った上で、事業仕分けの結果等を受け、施設型(ハード)への支援から「ソフト」、「人」への支援にシフト。
⇒コストの削減▲14億円
事業仕分けの結果を踏まえた削減額▲30億円 等
- 「選択と集中」により、アフガニスタン支援、環境・気候変動関連支援、NGOとの連携強化といった主要外交政策については必要額を確保。
⇒アフガニスタン支援187億円、NGOとの連携34億円、
環境・気候変動問題への対応210億円

➤JICA運営費交付金 1, 480億円(▲79億円、▲5.0%)

- コスト削減等を行った上で、事業仕分けの結果等を受け、調査研究経費等を削減。
⇒業務コスト及び管理コストの削減▲21億円
事業仕分けの結果を踏まえた削減額▲29億円 等
- 「選択と集中」により、アフガニスタン支援、NGOとの連携強化といった主要外交政策については必要額を確保。
⇒アフガニスタン支援109億円、NGOとの連携74億円 等

➤分担金・拠出金 514億円(+12億円、+2.4%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行。
- 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金60億円(新規)
⇒我が国の国際公約を早期に実現する観点からも、H22当初予算に計上
- その他の任意拠出金(総額247億円(▲47億円、▲16%))については、厳しい財政事情の下、開発・人道支援関係機関に配慮するなど、国際機関間でメリハリづけ。
⇒国連開発計画(UNDP)拠出金コファント⁶69億円(▲7.4億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1%
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金53億円(▲4.0億円、▲7.0%)
国連児童基金(UNICEF)拠出金15億円(▲1.6億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1%
国連世界食糧計画(WFP)拠出金6億円(▲0.7億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1% 等

➤援助活動支援等 598億円(▲26億円、▲4.1%)

- 在外公館における経費 等